

国住指第 3277 号平成 27 年 1 月 7 日

旭化成建材株式会社 代表取締役社長 前田 富弘 様

国土交通大臣 太田 昭宏

下記の構造方法等については、建築基準法第68条の26第1項(同法第88条第1項において準用する場合を含む。)の規定に基づき、同法第2条第八号並びに同法施行令第108条第一号及び第二号(外壁(耐力壁):各30分間)の規定に適合するものであることを認める。

記

- 1. 認定番号 PC030BE-3466(1)
- 2. 認定をした構造方法等の名称 フェノールフォーム保温板充てん/窯業系サイディング・木質系ボード表張 /せっこうボード裏張/木製軸組造外壁
- 3. 認定をした構造方法等の内容 別添の通り

(注意) この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名

(1)フェノールフォーム保温板充てん/窯業系サイディング·木質系ボード表張/せっこうボード裏張/木製軸組造外壁

2. 寸法及び形状等

(寸法単位:mm)

項目	仕 様
壁高	構造計算等によって構造安全性が確かめられた寸法
壁厚	129 以上
壁の構造	真壁又は大壁

3. 材料構成

(1) 主構成材料

(寸法単位:mm)

(1) 1.14/1/1/1/1/1/1/	(1)A+ L. IIII	1/
項目	位 様	
柱(荷重支持部材)	材料:(1)~(4)のうち、いずれか一仕様	
	(1)平成 12 年建設省告示第 1452 号に規定する構造用製材(JAS)	
	(2)平成 13 年国土交通省告示第 1024 号に規定する構造用集成材(JAS)	
	(3)平成 13 年国土交通省告示第 1024 号に規定する単板積層材(JAS)	
	(4)平成 12 年建設省告示第 1452 号に規定する無等級材	
	・断面寸法:105×105 以上	
	・間隔:4000 以下	
	・密度:0.35(±0.04) g/cm³ 以上	

つづく

項目	仕
外装材	[1]基材
	窯業系サイディング(以下「サイディング」という。)
	・規格: JIS A 5422
	・組成(質量%):
	(けい酸カルシウム化合物 65~86
	有機質繊維 1~13
	→ 無機質繊維 0~4
	有機質混和材 14 未満
	上無機質混和材 27 未満
	ただし、有機質繊維と有機質混和材の合計が 18 質量%を超えないこと。
	※サイディングに使用されている繊維質原料と混和材の例
	●繊維質原料
	・有機質:セルロース繊維、ポリビニルアルコール繊維、ポリプロピレン繊維等
	・無機質:ガラス繊維、ロックウール繊維等
	●混和材
	・有機質:リグニン、メチルセルロース、撥水剤等
	・無機質:パーライト、炭酸カルシウム、マイカ等
	[a]まで必要
	[2]表面塗装
	・種類:(1)~(6)のうち、いずれか一仕様
	(1)アクリルウレタン樹脂系塗装
	(2)アクリル樹脂系塗装
	(3)アクリルシリコーン樹脂系塗装
	(4)フッ素樹脂系塗装
	(5)エポキシ樹脂系塗装
	(6)無機質系塗装
	・塗布量:200g/㎡以下(有機固形分)
	[3]かさ比重
	1.1(±0.2) (絶乾)
	1.1(二 0.2) (府巴早石)
	[4]形状
	(1) 寸法
	「「「」「「「」」「「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」
	厚さ 最小 最大 最小 最大
	15~26 303 455 910 3640
	44/311104244 (6)
	(2) 端部形状 サイディング相互の重なりと隙間 ↓ ↓ ↓ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆
	「
	15~26 6以上 3以下

項	目			仕 様			
外装材		(3) 断面形状					
(つづき)		厚さ	模様深さ	容積欠損率(%)	※中空率 (%)		
		15~26	最小厚さ	11以下(ただし、板厚15	34 以下(ただし、板厚 18 を		
			11以上を	を超える場合は裏面から	超える場合は厚さを増した分		
			確保	15の位置での欠損率とす	だけ、dの中空部の高さを増		
				る。)	し中空率をあげることができ		
					る。)		
		※中空の形状					
			:	† a	1		
				d ‡	t		
		-		— VTc V €			
			厚さ t	a b	c d e		
			早さし 18以上		c d e 4以上 t-(a+c) t以下		
		-			けdの長さを増すことができる		
		101000	字 0 7 6 位 7	にの物可、序でを相しに力に	り、ロの氏さを増りことができる		
		[5]張方					
		縦張					
		[6]留め方					
		金具留め	(外装材留金	具による。)			
構造用面材	= _	材料:木質系					
		(1)~(5)のう		一仕様			
		(1)構造用合	**				
		・規格:					
		・厚さ: (2)構造用パ	-				
		• 規格:					
		・厚さ:					
		(3)製材	3 M.L.				
		•規格:	JAS				
		·厚さ:					
		(4)パーティ	_				
		• 規格 :	ЛS A 5908				
		・厚さ:					
				ファイバーボード(MDF)			
		., ., ., .,	ЛS A 5905				
		・厚さ:		0 121 1			
		・密度:	0.7(-0.07) g/cn	1。 以上			

項目	位 様
断熱パネル	[1]パネル縦材 材料:(1)~(4)のうち、いずれか一仕様 (1)製材 (2)合板 (3)集成材 (4)単板積層材
	・断面寸法:20×65以上 (ただし、構造用面材の継ぎ目がくる場合、27×65以上) ・間隔:500以下
	[2]パネル縦枠材 材料:(1)~(4)のうち、いずれか一仕様 (1)製材 (2)合板 (3)集成材 (4)単板積層材
	・断面寸法:20×65 以上 ・間隔:4000 以下
	[3]パネル横枠材 材料:(1)~(4)のうち、いずれか一仕様 (1)製材 (2)合板 (3)集成材 (4)単板積層材
	・断面寸法:20×65 以上 ・間隔:4000 以下
	[4]パネル充てん用断熱材 材料:フェノールフォーム保温板 ・規格:JISA9511 ・形状:平板 ・厚さ:25(±2)以上(ただし、柱断面寸法以下) ・密度(基材):24(±3)~45(±5) kg/m³ ・面材:(1)~(6)のうち、いずれか一仕様 (1)ポリエステル系不織布 ・使用量:10~60g/m³ (2)ポリプロピレン系不織布 ・使用量:10~60g/m³ (3)ポリエチレン加工紙 ・使用量:10~60g/m³ (4)はり合せアルミニウムはく (5)無機系の加工紙(けい酸マグネシウム紙、ガラス繊維紙、アルミニウムは く・ガラス繊維複合紙) (6)なし
	[5]パネル縦材・縦枠材・横枠材固定用留付材 材料:(1)又は(2)のいずれか一仕様 (1)くぎ ・材質:鉄又はステンレス鋼
	・付負: 妖又はヘアンレス調 ・寸法: φ2.75 以上×L50 以上 (2)ビス ・材質: 鋼又はステンレス鋼 ・呼び寸法: φ3.0 以上×L50 以上

つづき

項	目	仕 様	
内装材		材料:(1)又は(2)のいずれか一仕様	
		(1)せっこうボード	
		・規格: JIS A 6901 GB-R	
		・厚さ:9.5以上	
		(2)強化せっこうボード	
		・規格: JIS A 6901 GB-F	
		・厚さ:12.5 以上	
			,
		・端部形状:1)~3)のうち、いずれか一仕様	
		1)スクエア	
		2)テーパー	
		3)ベベル	

(2) 副構成材料

(寸法単位:mm)

(=) [E1] [E3] [E3] [E3] [E3] [E3] [E3] [E3] [E3	(1/4-1-4-11111)
項目	位 様
通気胴縁	材料:(1)~(4)のうち、いずれか一仕様 (1)製材 (2)合板 (3)集成材 (4)単板積層材
	・断面寸法:厚さ 9~40、幅 30 以上(上下接合部は厚さ 9~40、幅 90 以上と併用) ・間隔:500 以下

つづく

項目	<u></u>
防水紙	材料:(1)~(3)のうち、いずれか一仕様
	(1)アスファルトフェルト
	・規格:JIS A 6005
	・単位面積質量の呼び:430以下
	(2)透湿防水シート
	・規格: JIS A 6111
	・厚さ:0.2以下
	・材質:1)~3)のうち、いずれか一仕様
	1)ポリエチレン系
	2)ポリエステル系
	3)ポリプロピレン系
	・表面アルミニウム蒸着仕上げ:1)又は2)のいずれか一仕様
	1)あり
Time to the second	2)なし
	(3)なし
防湿気密フィルム	材料:(1)~(4)のうち、いずれか一仕様
	(1)住宅用プラスチック系防湿フィルム
	・規格: JISA 6930
	・厚さ: 0.2 以下
	(2)包装用ポリエチレンフィルム
	・規格: JIS Z 1702
	・厚さ: 0.2 以下
	(3)農業用ポリエチレンフィルム
	・規格: JIS K 6781
	・厚さ:0.2 以下
	(4)なし
下地胴縁	材料:(1)~(4)のうち、いずれか一仕様
	(1)製材
(外張付加断熱材	(2)合板
の厚さが 105 を超	
える場合設置:	(3)集成材
105 以下は必要に	(4)単板積層材
応じて設置)	・断面寸法:15×30 以上
	・間隔:500以下
内装目地材	材料 : (1)、(2)又は(2)と(3)の併用のうち、いずれか一仕様
	(1)なし
	(2)せっこうボード用目地処理材
	・使用量:100g/m 以上
	(3)ジョイントテープ
	・材質:ガラスファイバーテープ
	・寸法:幅 50、厚さ 0.15~0.20
留付材	[1]外装材留金具
田1747	・材質:(1)~(10)のうち、いずれか一仕様
	1.54 1.7 2.4 7.7 1—1.1
	(1)溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302) (2)塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)
	· / · · · - · · · · · · · · · · ·
	(3)溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3317)
	(4)塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3318)
	(5)溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321)
S.	(6)塗装溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322)
	(7)ポリ塩化ビニル被覆金属板(JIS K 6744)
	(8)熱間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4304)
	(9)冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305)
2	(10)溶融亜鉛·アルミニウム·マグネシウム合金めっき鋼板 (指定建築材料国土交通省大臣認定第 MSTL-0064 号,0065 号 0069 号,0070 号)

項	目	
		・形状:
(つづき)		
`		a o a
		e C
		b b d
		a = a ₁ + a ₂
		k W d
		a a c
		e h
		b b c c
		$b = b_1 + b_2$ $a = a_1 + a_2$, $b = b_1 + b_2$ $\rightarrow -$
		w:幅 40以上
		h:高さ 40以上
		w+h:幅と高さの合計 90以上
		t:鋼板の厚さ 0.8以上
		a:上部ツメの幅 15.8以上
		b:下部ツメの幅 14.0以上
		c: 上部ツメの長さ 4.2 以上 d: 下部ツメの長さ 4.6 以上
		e:上部ツメの掛かり高さ4.0以上
		f:下部ツメの掛かり高さ4.2以上
		上部と下部のツメの総掛かり面積 175mm ² 以上[(a × e)+(b × f)]
× .		
		・留付間隔:横方向 外装材の幅による
		高さ方向 500以下
	*	[2]外装材留金具固定用
		材料:(1)~(3)のうち、いずれか一仕様
		(1)スクリューくぎ
		材質:鉄又はステンレス鋼
		・寸法: φ 1.9 以上×L32 以上
		(2)リングくぎ
		・材質:鉄又はステンレス鋼
		・寸法:φ1.9以上×L32以上
		(3)タッピンねじ
		・材質: 鋼又はステンレス鋼
		1 1/2 目 、20m スパよン / マ レ Z 1/20m
		・呼び寸法: φ 3.0 以上×L25 以上

項	目	·	÷
 留付材		[3]胴緣固定用(通気胴緣·下地胴緣)	
(つづき)		材料:(1)又は(2)のいずれか一仕様	
(> > C)		(1)くぎ	
		・材質:鉄又はステンレス鋼	
		・寸法: φ2.45 以上×L45 以上	
		(2)ビス	57
		・材質:鋼又はステンレス鋼	
		・呼び寸法: ø3.0 以上×L38 以上	
		10.147. A 9.0 NTV TOO NT	
		・留付間隔:500以下	
		田门同桥、5000人	
		[4]パネル枠材固定用	
		材料:(1)又は(2)のいずれか一仕様	
		(1)くぎ	
		・材質:鉄又はステンレス鋼	
		・ 付負: 吹叉はヘノンレヘ調 ・ 寸法: ø3.05 以上×L65 以上	
		・ 寸伝: φ3.05 以上×L65 以上 (2)ビス	
		\ \	
		・材質:鋼又はステンレス鋼	
		・呼び寸法:φ3.0 以上×L65 以上	
		・留付間隔:300以下	
		[5]内装材固定用	
		材料:(1)~(5)のうち、いずれか一仕様	
		(1)せっこうボード用くぎ	
:4		・規格: JIS A 5508	
		・寸法: φ 2.34 以上×L31.8 以上	
		(2)十字穴付木ねじ	
		・規格: JIS B 1112	
		・呼び寸法:φ3.1 以上×L25 以上	
		(3)ドリリングタッピンねじ	
		・規格: JIS B 1125	
		・呼び寸法: φ 3.0 以上×L25 以上	
		(4)くぎ	
		・材質:鉄又はステンレス鋼	4 1 ,
		・寸法: φ 1.9 以上×L32 以上	
		(5)ビス	
		・材質: 鋼又はステンレス鋼	
	45	・呼び寸法:φ3.0 以上×L25 以上	
		・留付間隔:200以下	
		[6]構造用面材固定用	
		材料: (1)又は(2)のいずれか一仕様	
		(1)くぎ	
		・ 材質: 鉄又はステンレス鋼	
		・寸法: φ 2.15 以上×L38 以上	
		(2)ビス	
		- V2/Cハ ・材質: 鋼又はステンレス鋼	
		・呼び寸法: φ3.0 以上×L25 以上	
		一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	
		, 約付即厚,500 以下	
		・留付間隔:500 以下	

つづき	.,	
項目		
留付材	[7]スターター固定用	
(つづき)	材料:(1)~(3)のうち、いずれか一仕様	
	(1)スクリューくぎ	
	・材質:鉄又はステンレス鋼	
	・寸法: φ 1.9 以上×L32 以上	
	(2)リングくぎ	
	・材質:鉄又はステンレス鋼	
	・寸法:φ1.9以上×L32以上	
	(3)タッピンねじ	
	・材質:鋼又はステンレス鋼	
	・呼び寸法:φ3.0以上×L25以上	
	・留付間隔:227.5 以下	
	[6]中間水河田今田	
	[8]中間水切固定用	
	材料:(1)~(3)のうち、いずれか一仕様	
	(1)スクリューくぎ	
	・材質:鉄又はステンレス鋼	
	・寸法: φ 1.9 以上×L32 以上	
	(2)リングくぎ	
	材質:鉄又はステンレス鋼	
	・寸法: φ 1.9 以上×L32 以上	
	(3)タッピンねじ	
	・材質:鋼又はステンレス鋼	
82	・呼び寸法: φ 3.0 以上×L25 以上	
	STATES FOO NIT	
	・留付間隔: 500以下	
	[9]断熱材固定用	
	材料:(1)~(7)のうち、いずれか一仕様	
	(1)くぎ	
	・材質:鉄又はステンレス鋼	
	・寸法: φ1.9 以上×L32 以上	
	(2) (片面・両面) 粘着テープ	
	・材質:1)~7)のうち、いずれか一仕様	
	1)ブチルゴム系	
	2)EPDM ゴム系	
	3)アクリル系 4)アスファルト系	
	5)ポリエチレン系	
	6)ポリエステル系	
	7)ポリプロピレン系	
	・使用量: 200g/m以下	

項	B	仕	様	
留付材	**	(3)アルミニウムはく付き粘着テープ		
(つづき)		・材質:1)~3)のうち、いずれか一仕様		
())		1)ポリエチレン系		
		2)ポリエステル系		
		3)ポリプロピレン系		
		・使用量: 200g/m²以下		
		(4)スプレーのり		
		・材質:合成ゴム系樹脂		
	*:	・使用量: 100g/㎡以下		
		(5)接着剤		
		・材質:1)~7)のうち、いずれか一仕様		
		1)エポキシ系樹脂		
		2)酢酸ビニル系樹脂		
		3)ゴム系		
		4)アクリルウレタン系樹脂		
		5)ポリウレタン系樹脂		
		6)変成シリコーン系樹脂		
		7)EVA系樹脂		
		・使用量: 180g/㎡以下		
		(6)ステープル		
		・材質:鉄又はステンレス鋼		
		・寸法: 肩幅 9.6 以上、足長 10 以上		
		(7)なし		
		 [10]防水紙・防湿気密フィルム固定用		
		材料:(1)~(5)のうち、いずれか一仕様		
		(1)ステープル		
2		・材質:鉄又はステンレス鋼		1.4)
		・寸法: 肩幅 9.6 以上、足長 10 以上		
		(2)(片面・両面)粘着テープ ・材質:1)~7)のうち、いずれか一仕様		
		- ・ 1)ブチルゴム系		
		2)EPDM ゴム系		
		3)アクリル系		
		4)アスファルト系		
		5)ポリエチレン系		
		6)ポリエステル系		
		7)ポリプロピレン系		
		・使用量:200g/m²以下		
		(3)アルミニウムはく付き粘着テープ		
		・材質:1)~3)のうち、いずれか一仕様		
		1)ポリエチレン系		
		2)ポリエステル系 3)ポリプロピレン系		
		・使用量: 200g/㎡以下		
		・使用量:200g/m以下		
		・材質:合成ゴム系樹脂		
		・使用量:100g/㎡以下		
		(5)なし		

項目	仕 様	
シール材	材料:(1)~(5)のうち、いずれか一仕様	
	(1) (片面・両面) 粘着テープ	
	・材質:1)~7)のうち、いずれか一仕様	
	1)ブチルゴム系	
	2)EPDM ゴム系	
	3)アクリル系	
	4)アスファルト系	
	5)ポリエチレン系	
	6)ポリエステル系	
	7)ポリプロピレン系	
	・使用量:115g/m 以下	
	(2)アルミニウムはく付き粘着テープ	
	・材質:1)~3)のうち、いずれか一仕様	
	1)ポリエチレン系	
	2)ポリエステル系	
	3)ポリプロピレン系	
	・使用量:115g/m 以下	
	(3)シール材	
	・材質:1)~6)のうち、いずれか一仕様	
	1)ポリウレタン系樹脂	
	2)アクリルウレタン系樹脂	
	3)ポリサルファイド系樹脂	
	4)変成ポリサルファイド系樹脂	
	5)シリコーン系樹脂	
	6)変成シリコーン系樹脂 (#188 190 / 190	
	· 使用量 100g/m 以下	
	(4)軟質ウレタン粘着シール	
	・材質 ポリウレタン系	
	・厚さ 5.0以下	
	・使用量 100g/m 以下	
	(5)なし	
スターター	材料:(1)~(9)のうち、いずれか一仕様	
^9-9-	(1)溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302)	
	(2)塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)	
	(3)溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3317)	
	(4)塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3318)	
	(5)溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321)	
	(6) 塗装溶融 55%アルミニウム・亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322)	
	(7)溶融亜鉛-アルミニウム - マグネシウム合金めっき鋼板(JIS G 3323)	
	(8)熱間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4304)	
	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
	(9)冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305)	
	. 厚さ、1.0(+0.9)以上	
	・厚さ:1.0(±0.2)以上	
	・形状 : L-13×35 以上	

つづく

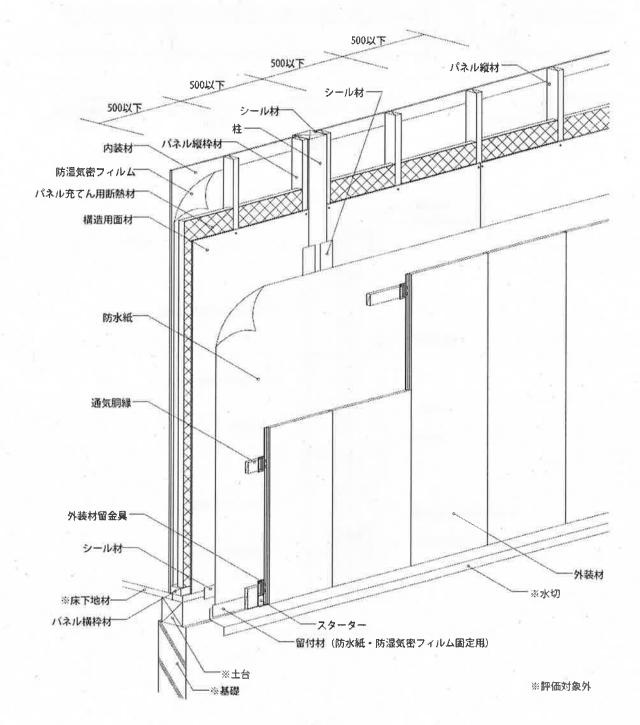
項目	位 様
上下接合部	材料:(1)又は(1)と(2)の併用のいずれか一仕様
(壁高さが 3030 を	(1)中間水切
超える場合)	・材質:1)~9)のうち、いずれか一仕様
	1)溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302)
	2) 塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)
	3)溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3317)
	4)塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3318) 5)溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321)
	6)塗装溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めつき鋼板(JIS G 3321)
	7)溶融亜鉛-アルミニウム - マグネシウム合金めっき鋼板(JIS G 3323)
	8)熱間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4304)
	9)冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305)
	・厚さ: 0.3(±0.05)以上
	・見付幅:30(±3)以下
	(2) シーリング材
·	・材質:1)~6)のうち、いずれか一仕様
	1)ポリウレタン系樹脂
	2)アクリルウレタン系樹脂
	3)ポリサルファイド系樹脂
	4)変成ポリサルファイド系樹脂
	5)シリコーン系樹脂
	6)変成シリコーン系樹脂
	・使用量:2g/m 以上

4. 構造説明図

図 1~8 に構造説明図を示す。

(1) 構造用面材:真壁、内装材:真壁、断熱材:充てんのみ

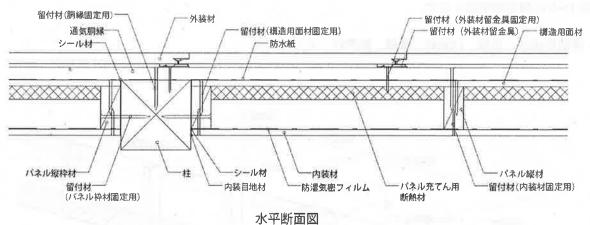
(寸法単位:mm)



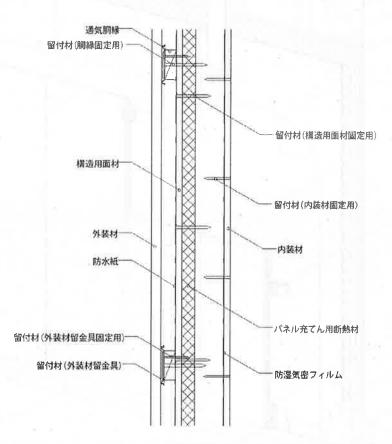
透視図

図1 構造説明図

(別添-13)



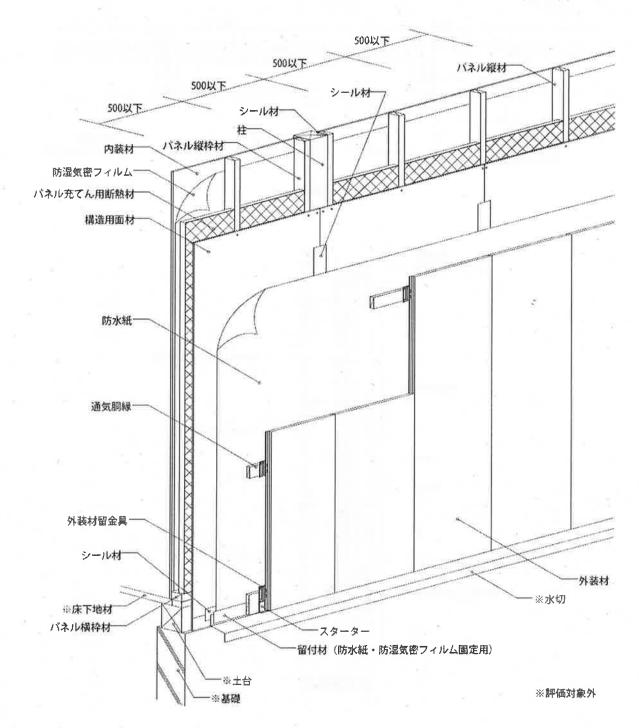
7/ 1 E/IE/IE/



鉛直断面図

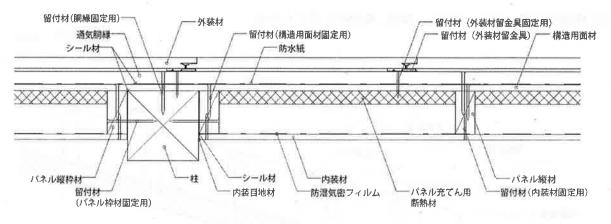
図2 構造説明図

(寸法単位:mm)

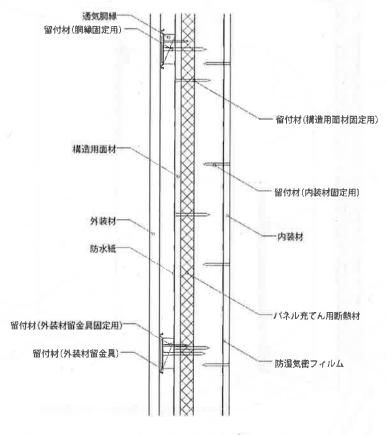


透視図

図3 構造説明図



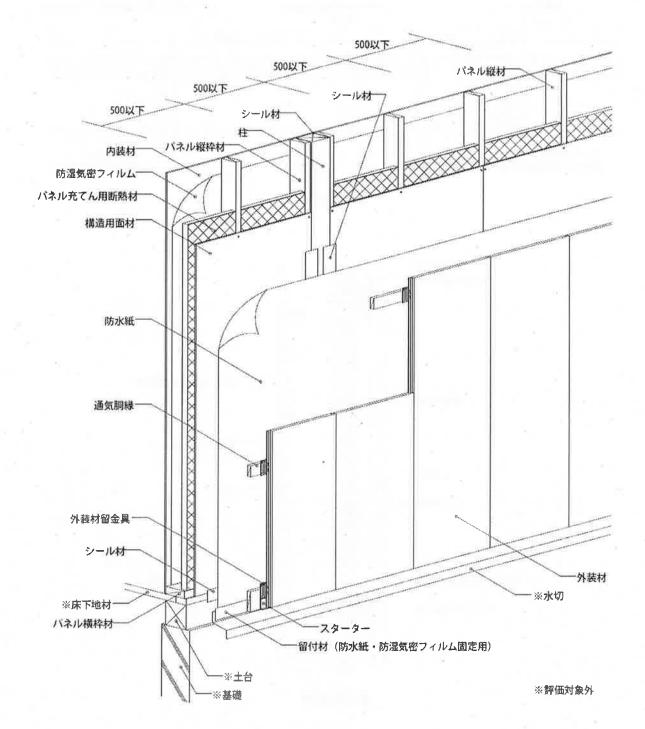
水平断面図



鉛直断面図

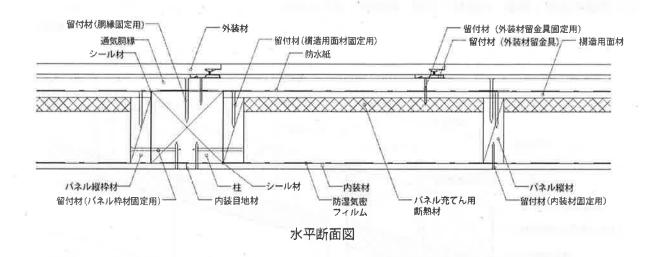
図 4 構造説明図

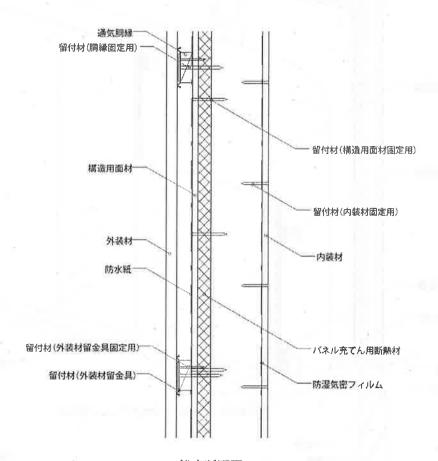
(寸法単位:mm)



透視図

図 5 構造説明図



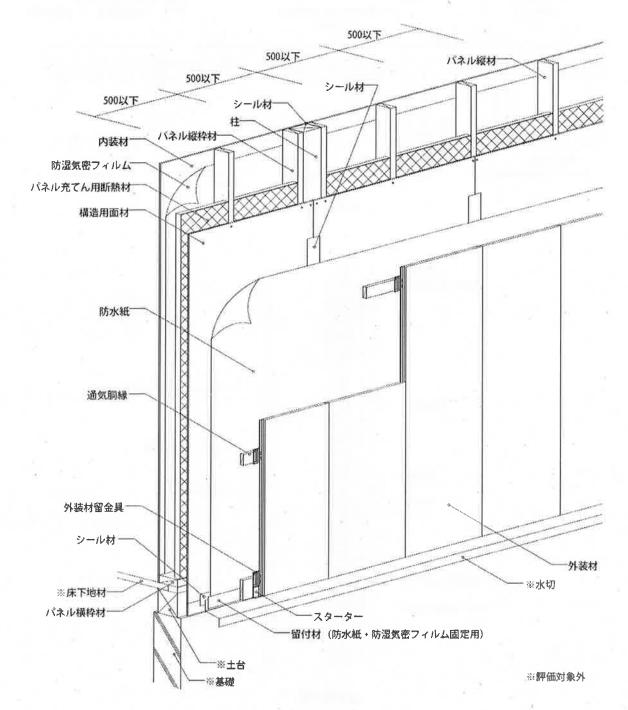


鉛直断面図

図 6 構造説明図

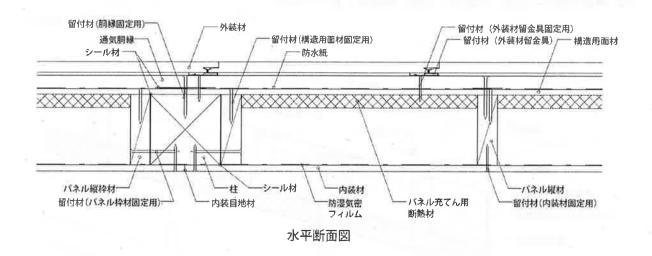
(4) 構造用面材:大壁、内装材:大壁、断熱材:充てんのみ

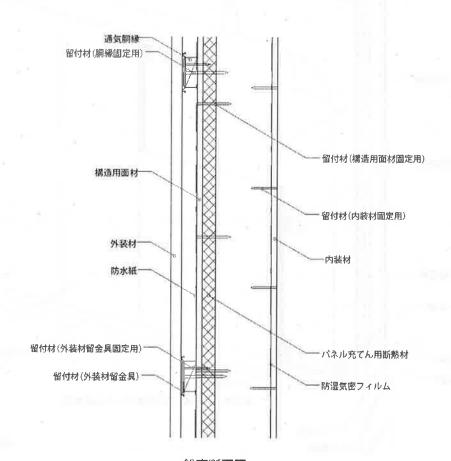
(寸法単位:mm)



透視図`

図 7 構造説明図





鉛直断面図

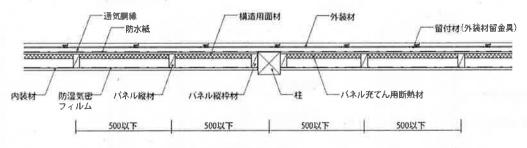
図 8 構造説明図

5. 施工方法等

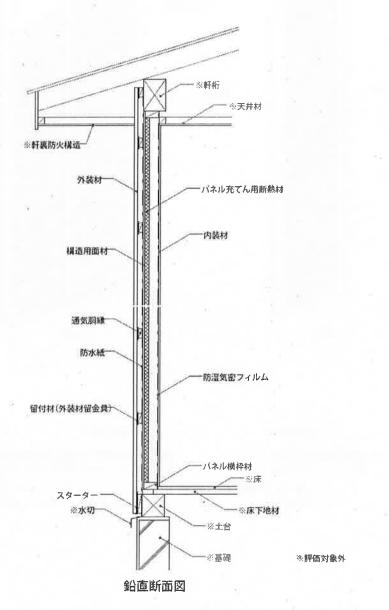
<施工図>

図 9~14 に施工図を示す。

(寸法単位:mm)



水平断面図



充てん断熱のみの施工例

図9 施工図

(別添-21)

1)柱間隔500以下

2)柱間隔500超

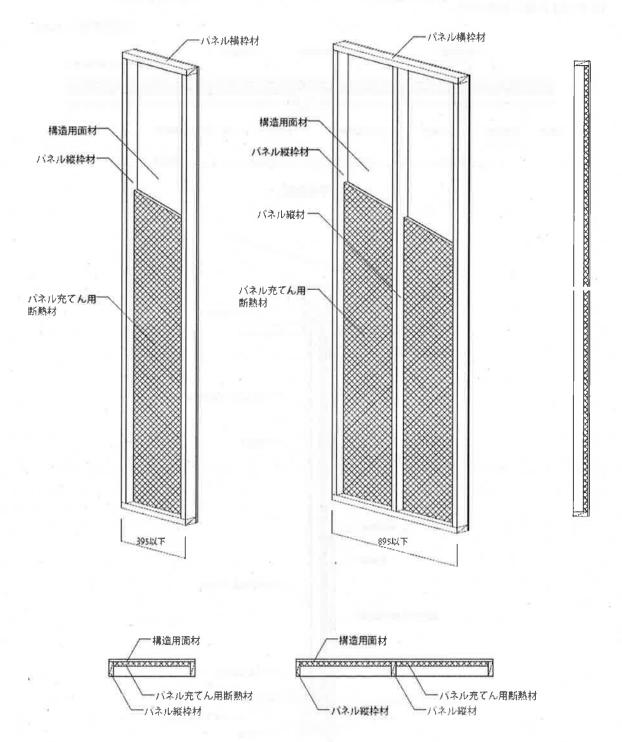
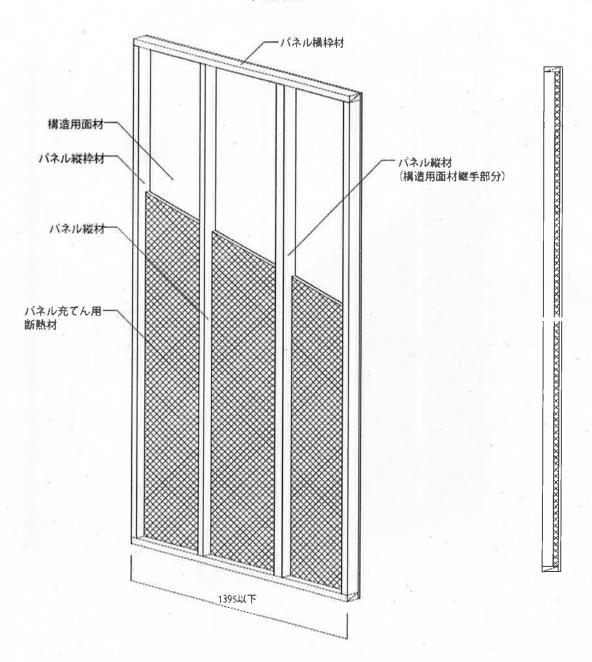


図 10 施工図

(寸法単位:mm)

3)柱間隔1000超



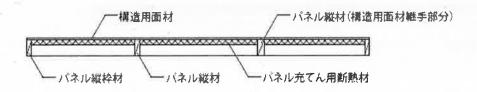
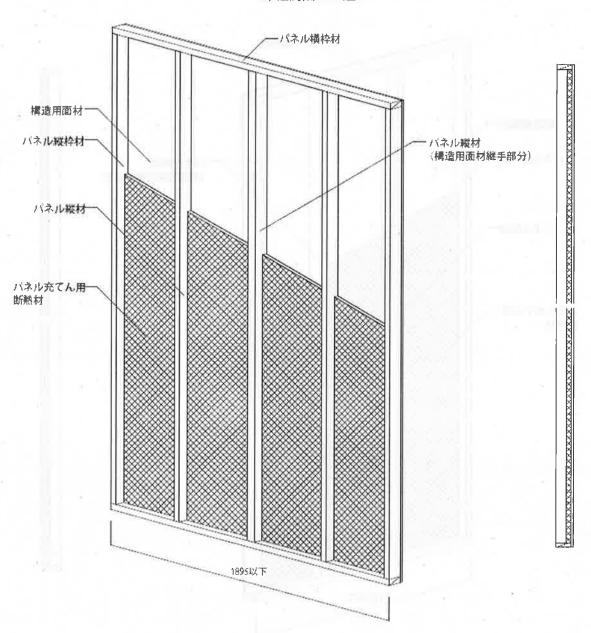


図 11 施工図

4)柱間隔1500超



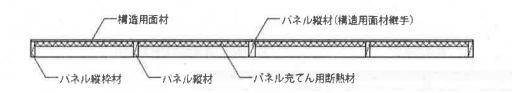
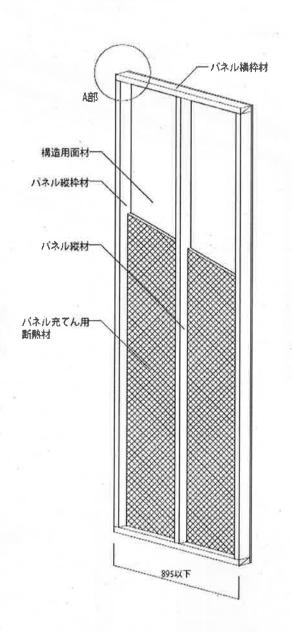
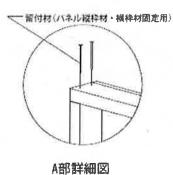
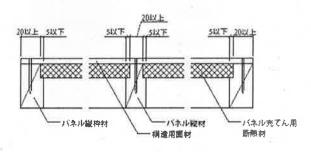


図 12 施工図



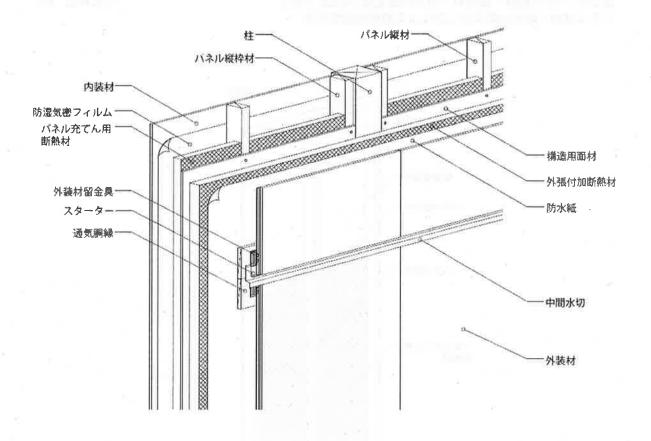




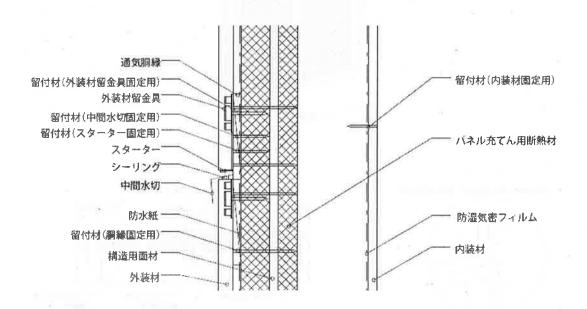
断熱パネル断面詳細図 (パネル縦枠材・縦材の欠き込みによる断熱材固定方法)

図 13 施工図

(別添-25)



透視図



鉛直断面図

図 14 施工図

(別添-26)

<施工手順>

- (1)下地組等
 - (a)又は(b)のいずれか一仕様とする。
 - (a)
 - ①柱は、反り曲がりのないものを使用し、垂直に取り付ける。
 - ②パネル縦材、縦枠材、横枠材の取付け パネル枠材固定用留付材を用いて柱、土台等に取り付ける。
 - ③構造用面材の取付け

柱、縦材、縦枠材等の上に構造用面材用留付材を用いて取り付ける。

④断熱材の取付け

パネル充てん用断熱材は隙間が生じないように、パネル縦材、縦枠材、横枠材間等に充てんする。

- (b)
 - ①工場にて、パネル縦材、縦枠材、横枠材と構造用面材、断熱材を組み合わせパネル化する。 この際、縦材、縦枠材、横枠材同士はパネル枠材固定用留付材、構造用面材は構造用面材用 留付材で、パネル充てん用断熱材は断熱材仮固定用留付材で、留め付ける。
 - ②壁パネルを、柱・梁・土台間等にはめ込み、パネル枠材固定用留付材で留め付ける。

(2)防湿気密フィルムを張る場合

防湿気密フィルム仮固定用留付材を用いて、たるみやしわのないように、充てん用断熱材より室内側に取り付ける。

(3)シール材を貼る場合

断熱材あるいは構造用面材の目地の上部から、剥がれないように貼る。

(4)防水紙を張る場合

横張を原則とし、所定の重ね代を確保した上で、防水紙固定用留付材で仮固定する。

(5)胴縁の取付け

断熱材の上に、胴縁固定用留付材を用いて取り付ける。

(6)外装材の取付け

目地にずれが生じないよう、外装材留金具、外装材留金具留付材を用いて取り付ける。

(7)内装材の取付け

内装材用留付材を用い、柱、縦材、縦枠材等に取り付ける。